

足立区立千寿桜小学校
学校長 渡辺 円 様

足立区立千寿桜小学校
開かれた学校づくり協議会 会長 中屋 房一

令和5年度 学校関係者評価書

【全般について】

今年度は、コロナ禍も徐々に治まり学校行事等も例年とは少し違った内容ではありながらも実施出来た事は子ども達、保護者も含め思い出が残る年度になって良かったと思います。

保護者の学校評価アンケート結果から見ても、それぞれの項目において70～80%以上の肯定的な意見が多く見られました。自由意見において「学習コンクールの取り組みがとても良い」「相談ごとにおいても親身に聞いてもらえる」「授業中に反抗的な児童に対し放っておかなく冷静に対応している」「先生方の連携がとても良くできていて感謝している」……等、沢山の意見があり、学校に任せっきりでなく一緒に子ども達を育てようとしているのが見えました。

それには、教職員が健康で学校経営計画に示した取組をしっかりと履行し、児童の学力・体力・健全な心の育成に繋がるように全教職員が共通の行動をとっていた姿が見えてきました。

次年度も、教職員本来の仕事に集中できるよう努力頂き、研究授業、小中連携授業等の継続をお願いしたいと思います。

【学力の定着について】

目標である通過率を大きく上回り国語88.1%算数92.3%を達成できた。

次年度においても「桜☆学習コンテスト」をはじめとして努力→理解→定着→結果→実感するように指導して頂きたいと思います。

【体力の向上と健康な体の育成について】

投力向上の取り組みで成果が現れ、全学年全種目のうち61項目63.5%が都平均を超えた。

次年度においては持久力や柔軟性の向上に力を入れるとの事ですので、それに伴い体力の向上をお願いします。

【思いやりの心の育成について】

いじめがなく、毎日楽しく通える学校づくりを目標に全教職員が共有し継続するいじめの件数0を目指してほしいと思います。

【教員の指導力の向上について】

めざす教師像を基に、次年度も無理のないなかで精神面も含め研究授業、自主研修等で教師力を磨いてほしいと思います。

【小中連携について】

千寿青葉中、千寿双葉小の2校との連携協議会を実施され相互の理解が深まっていることと思います。小学校から中学校へ繋がる一層の成果を期待しています。

【あいさつの励行について】

今年度は協議会として校門でのあいさつ運動に久々に参加できました。次年度においても子ども達と一緒に実施できればと思います。又、協議会委員も街なかで、あいさつをするにしても、もっと子ども達に顔を覚えてもらう必要があると思いますので努力したいと思います。

以上